

あらくさ

編集責任者：歌房哲也

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷11584

生活介護事業所 あらくさ

TEL 0847-67-3410 FAX 0847-67-3439

E-mail arakusa@f2.dion.ne.jp

〒729-4101 広島県三次市甲奴町本郷1215-1

就労継続支援B型事業所 夢工房ねむの木

TEL 0847-67-5051 FAX 0847-67-2080

E-mail arakusa-nemunoki@r3.dion.ne.jp

ふらっと相談支援事業所

TEL 0847-67-5052 FAX 0847-67-2080

E-mail arakusa-flat@r7.dion.ne.jpあらくさホームページ <http://www.pionet.ne.jp/~arakusa>

コロナ禍でどうなった！？

障害者の暮らし

新型コロナウイルス感染拡大による影響

日本では、令和2年1月中旬に新型コロナウイルスの感染が確認されて以降、瞬く間に感染が拡大し、未だ終息が見えない状況です。この新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活環境は大きく変わりました。以前とは異なり、毎日の暮らしの多くの場面で、健康や生命の不安を感じるようになったことは、きっと皆様も同じだと思います。中でも、生活していく上で他者から支援を受けることが必然的である社会的弱者といわれる人たちは、さらに大きな不安を抱えることになりました。

障害のある人を取り巻くこと



地域によっては、新型コロナウイルスの感染拡大により、福祉サービスの利用自粛、利用時間・日数の短縮及び事業所の閉所等を余儀なくされる事態となりました。そのことで、福祉サービスを必要とする利用者だけではなく、その家族も従来の支援が受けられないことで生活が困難になるだけではなく、先行きが見えない不安と在宅生活が長期化することで心身の状態が悪化することが危惧されました。また、感染者のみならず、常に感染リスクを抱える医療・福祉関係者が誹謗中傷を受ける等、新型コロナウイルスが人間観を変えてしまったことに心を痛めました。誹謗中傷は差別と同様であり、決して許されることではありません。しかし、個々の生活や社会全体に余裕がなくなることにより、自身のことが優先され、結果として他者を排除する言動が差別に繋がることもあります。そのことを私たちも認識しておかなければならないと強く感じました。

～安心して暮らせる地域になる為に～

今回の新型コロナウイルス感染症への対応については、行政からの要請・要望によるものではなく、知り得る限りの情報と事業所の現状により、各事業所の責任において決定がされました。このような有事に際して、その全ての責任を各事業所に委ねることが適切だったのかは、今後、しっかりと検証していく必要があるのではないのでしょうか。

なぜなら、福祉サービスを必要とする人たちが、利用する事業所、障害種別・程度や住んでいる地域によって対応が異なり、多くの方が生活を維持するための必要な支援が受けられない事態となったからです。同じ地域で共に暮らす人たちが、各々の環境や状態により生活が維持できなくなる為にも、各事業所が連携を図りながら対応をしていくことが必要です。そのためには、実施主体である行政が、迅速に、福祉サービスを必要とする人や各事業所の状況の把握を行ない、責任をもってその対応を考え、行動することが求められるのではないのでしょうか。今回、各事業所の主体的な対応だけでは限界があることが明らかとなりました。このような有事の時こそ、行政のリーダーシップが必要であると思います。



2019(令和元)年度 社会福祉法人あらくさ 事業報告及び決算報告

【事業報告】

● 多様なニーズに応えるために

当法人の理念にある「どんな障害のある人でも受け入れる」を実践し、ここ数年で、大幅に利用者が増員しました。2019年度には70名を超え、現在の建物だけでは作業・活動スペースが手狭になりました。利用者がより豊かに地域で暮らすための作業工賃向上を目指す取り組みのため、作業環境の改善を行う必要性が増してきました。

また長期利用者の増加や、60歳前後で新規利用する人もおり、今までの作業・活動だけでは、ニーズを充足することが難しくなってきました。また、障害の重たい人も増え、その人たちの労働保障の検討も重要になってきました。

これらの課題を解決するためにも、新たな施設建設をすることは急務でした。そして、作業・活動班の再構築を行い、利用者一人ひとりが、今まで以上にいきいきとした日々を過ごすことができるようになる必要がありました。



● 新たな時代に向けて

2019年度は、内部で新施設建設検討委員会を立ち上げ、現状や課題の整理を行い、「社会福祉法人あらくさ施設整備基本計画（構想）」（以下：施設整備基本計画）を策定しました。

新施設は、主に就労支援事業の強化・改善を中心に考えています。今以上に利用者が、効率的に働くことができる建物にし、やりがいのある作業で工賃の向上をめざします。

新たな取り組みへと進み始めた矢先、新型コロナウイルス感染症の拡大によって不安定な情勢になり、新施設の建設にも影響を及ぼしています。しかし私たちは当法人の理念を羅針盤に、2020年度は建設実現に向け、具体的に進める計画です。

（担当：檀浦）



【決算報告】

○ 収入 193,850千円 (単位 千円)

就労支援事業収入	18,338
障害福祉サービス事業収入	171,930
経常経費寄付金収入	836
受取利息配当金収入	13
その他収入	2,162
施設整備等補助金収入	430
積立資産取崩収入	138

○ 支出 176,395千円 (単位 千円)

人件費支出	119,190
事業費支出	15,961
事務費支出	6,113
就労支援事業支出	25,573
その他支出	16
固定資産取得支出	1,378
積立金資産支出	6,571
その他の活動による支出	1,589

【決算資料の公開閲覧所】 夢工房ねむの木受付

（担当：岡田）

☆★きらい

～新しい利用者の方を紹介します!～



藤本翔伍さん (りんどう班)

歌う事が大好きです。外出活動で色々な場所に行くのも楽しみです。パン配達も頑張っています。



千葉大樹さん (ウイング班)

リサイクルの仕事をしています。慣れない事もありますが、頑張っています。仲間もできて嬉しいです。



川上五男さん (ウイング班)

上下町から来ています。洗車や農作業等の仕事をしています。働けることがととても嬉しいです。



(担当：原田)

シリーズ

障害のある人の高齢期を考える～①現状と課題～

高齢化の現状

日本は急速に高齢化が進んでおり、障害のある人を含め65歳以上人口が総人口に占める割合(高齢化率)は、28.1%(2018年・総務省人口推計)と、世界で一番の高齢化国になっています。

あらくさの利用者の中にも高齢期を迎えた人は増えており、加齢に伴った障害の重度化や、日常生活を送る上で今までとは違う課題を抱える人も出てきました。今後、そのような人の支援を考えることは、必要不可欠な状況になっています。そこで2020年度は、障害のある人の高齢期について考えていきます。

障害のある人の加齢・老化の特徴と諸問題

① <障害のない人に比べて、早期から老化現象が発生!?!>

個人差はありますが、幼少期から障害のある人は全身の機能が未発達なことが多く、それ故に基礎体力の低さも見られます。合わせて抵抗力の低さも見られることがあります。また、長期的に服薬をしている人もおり、肝障害や免疫不全を起こし易いというリスクが高くなります。さらに、もともとの障害の悪化に加えて、新たに出現した症状や障害(2次障害)での動作能力の低下もあり、今までできていたことができなくなってしまった(時間がかかるようになった)という人もいます。

これらの加齢による老化は、障害のない人に比べると、早期(40代前後)から発生してくることが、研究等で明らかになりはじめています。

② <高齢期に合わせた日中の作業・活動保障が少ない>

日中、作業所等に通っている高齢期の障害のある人の中には、加齢に伴う体力低下などから、「今までしていた作業や活動が、しんどくなってきた。」という人は少なくありません。しかし「作業所には通いたい。」という思いはあり、そのような人に対して、人員配置や活動場所の確保の難しさなどから、高齢期に合わせた支援を十分に検討できていないなどの問題もあります。

③ <家族に頼らざるを得ない生活>

障害のある人は、経済的な面や様々な介助で親に頼らざるを得ません。多くの人が成人しても親と同居しており、自立した自分らしい暮らしへのイメージが持ちにくいという問題もあります。また、2010年にきょうされんが行った実態調査結果では、50代以上の介助者(主には母親)の多くが「自分に何かあったら今後の生活がとても心配」という、親亡き後の不安を抱えていることが明らかになっています。介助者の病気や怪我等により生活を支える事ができなくなり、入所施設等の別の場所で生活をせざるを得ない状況におかれると、急激で大きな環境変化による不安は並大抵のものではありません。

誰もが安心して老いられるように・・・

障害の有無に関わらず、誰もが安心して老いることができるような社会にすることは、今後とても重要なことです。そのため、障害のある人やその家族が、自分の人生をいきいきと過ごすことができる仕組み作りが必要です。次回は高齢期の障害のある人の支援について具体的に考えていきます。

(担当：原)

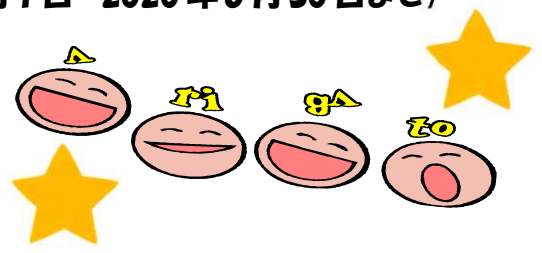
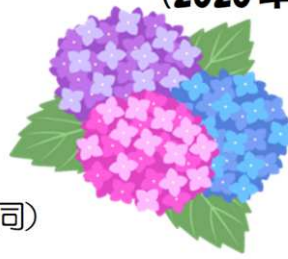
いただきました

(2020年4月1日~2020年6月30日まで)

金一封ご寄付

(川順不同)

伊達光子様 藤原文彰様 平森忠夫様



野菜・食品・物品等のご寄付

(川順不同)

西教寺様 竹口義旭様 伊藤哲也様 藤原靖栄様 小童小学校児童様 林友紀様 角英樹様 中垣博子様 寺田朱美様 川辺良孝様 高橋信子様

ボランティア

(川順不同)

あらくさ友の会様 あらくさ家族会様

いただいた食材は給食等に使用させていただきました。この他にも、アルミ缶・紙等の資源回収にご協力いただきました。ありがとうございました。記載もれがありましたら、どうかお許しください。

夢工房ねむの木からのご案内

☆レストラン絶賛営業中!!

お客様一人ひとりの距離を保てるよう、テーブル毎の座席数を減らし、可能な限りの感染予防に努めています。美味しい料理を用意して、お客様のご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



お昼のお弁当について



配達エリア拡大中

【配達拡大エリア：吉舎・三良坂・三次市内】5個以上から、注文承ります。前日までにご注文をお願いします。場所によっては配達料をいただく場合があります。事前にご確認ください。



【お弁当内容】

- おまかせお肉弁当
- おまかせお魚弁当
- おまかせミックス弁当
- 全て500円です。

お弁当例：おまかせお肉弁当

☆団体様のご予約も可能です!

定員：15名様

3日前までにご予約をお願いいたします。

小童小学校児童の皆様よりいただきました。綺麗な花をありがとうございます。

~第43次 国会請願署名~
(あらくさ署名数) 2,000筆 いただきました
署名にご協力くださり、ありがとうございました!



あらくさ夏祭り中止のお知らせ

毎年楽しみにしていただいております“あらくさ夏祭り”ですが、新型コロナウイルス感染予防の為、今年は中止させていただきます。(担当：中村、秋山)